

第19回 キャリアコンサルティング技能検定2級論述解答例（中里）

2017/12/16 実施分

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。（20点）

中堅建材メーカーに勤務して36年間仕事に打ち込んできたが、定年が近づき、いくつか選択肢があるものの、母親の介護の問題も含めると、定年後の働き方をなかなか決められずに迷っていること。

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ（20点）

定年後のセカンドキャリアライフに向けた仕事において、ワークライフバランスの視点で仕事（自己実現、経済面での仕事）と、生活面（母親の介護、単身赴任などの問題）を考えることが出来ず、表面的な魅力に気を取られていて、どの働き方が適しているかを決断できずにいること。

問3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、②どういうことを実施したいか、あなたの具体的な方策を記述せよ。（60点）

- ① 自身のセカンドキャリアライフについて、「海外赴任」「会社役員」というような表面的な魅力にとらわれることなく職務内容や条件を吟味し、介護の問題も含め、ワークライフバランスの取れた働き方を自ら選択できるよう支援することを目標とする。
- ② 36年間、仕事に打ち込んできたことを労い、今までの仕事について振り返ることで、自身の強みを再確認するよう促す。その上で、自身のセカンドキャリアライフに向けた働き方や仕事について、「再雇用」「転職」「海外赴任」それぞれの仕事内容や条件などを書き出し、母親の介護など生活面とのバランスを考慮した上で比較検討し、妻への相談も含めて、どの働き方が定年後の自身の仕事として適しているかを自ら決断できるよう支援していく。